

平成21年度第2回大分県食育推進会議

日 時：平成21年11月9日（月）13：30～15：30
場 所：大分県土地改良会館 5階 大会議室

～次 第～

- 1 大分県食の安全確保推進本部副部長
生活環境部長 あいさつ
- 2 会長及び副会長の選出
- 3 議事
 - (1) 第2期大分県食育推進会議委員自己紹介
 - (2) 食育推進体制について
 - (3) 平成21年度食育関連事業進捗状況について
 - (4) 今後のスケジュールについて



《主な意見》

～食育推進体制、平成21年度食育関連事業進捗について～

- 大分県食育推進計画の数値目標の中で朝食を毎日食べるという調査があるが、朝食としてどんなものを食べているかを調査しているか。朝食については、食べているかどうかだけでなく、中身が重要だと思うので、調査をもっと時代に合った深いものにすべきではないか。
- 朝食については、小学校5年生、中学校2年、高校1年と3つの段階だけで数値を達成しているという考え方は、数値ありきではないか。実施するのであれば、小学校1年生や幼稚園、保育園の年長さんを見るのが大事ではないか。幼児期が一番大事な時期であるが、見落とされている部分ではないかと思う。
- 各課でいろいろな親子クッキング教室や出前授業、コンクールなどやっているが、それぞれでやっているものが、縦向きに行っているのは、広がりにくいのではないか。
- 食育の取り組みをする中で、食と生ゴミについては、切り離して考えられないと思うが、担当課の切り口が違つとそのようなことを考えずに実施するということがあるように思う。食について、料理実習などする際には、食への感謝の気持ちやマナーなど共通に伝えられることがあると思う。各部所がイベント等行う場合に共通して、食を通して伝えていくように意識すべきではないか。
- 講師として呼ばれるようになり、今3年目になるが、継続して招かれている親子料理教室では、作ることから始まり、一番最後の片付けまでして、最終的には、ごみのところまでちゃんと対応しているので、指導者がみな対応していないということは、ないと思う。毎年実施していると自然に参加者が自分達で野菜の皮も利用するなど自ら工夫したりできるようになっている。
- 個人的な意見だが、米の推進については、米粉ではなく、米そのものを推進していくべきではないか。おいしいご飯を食べるといふ運動をせず、米の粉でなぜ、パンを焼かなければいけないのかという思いがある。

